

津別町 人づくり・まちづくり活動支援事業募集のお知らせ

平成26年度
1回目

町では、『津別町人づくり・まちづくり活動支援事業』として、産業、福祉、芸術文化、スポーツ、コミュニティー活動など様々な分野で地域の活性化を図ることを目的に、まちづくりのリーダーの育成及び町民の自主的なまちづくり活動を支援しています。

- 募集期間** 平成26年4月1日(火)～平成26年6月2日(月)
- 対象事業** 人づくり活動支援事業...町民が国内外で研修する事業
まちづくり活動支援事業...町内の団体が既存の活動の拡充となる自主的なまちづくり活動を行う事業
過去に申請した団体でも別事業での申請が可能になりました。
- 補助額** 人づくり活動支援事業...補助対象経費の1/2以内(限度額:国内8万円、国外20万円)
まちづくり活動支援事業...補助対象経費の総額以内(限度額:100万円 下限額:5万円)
補助対象外経費でも審査委員会で認められたものについては対象経費となります。
- 事業の承認** 申請者は、必要書類提出後、審査会において審査委員に事業概要等を説明していただきます(プレゼンテーション)。そこでの審査の結果、事業が採択されます。

参考(過去に採択された事業)

- 人づくり事業 森林セラピスト資格認定講習会/エコタウン先進事例調査/有機酪農先進地視察研修事業/全道SRUニュージールランド先進地視察/台湾二水郷視察研修事業/林業先進地視察/津別町玉葱振興会青年部道外視察研修/津別町ラグビーチームサポータークラブ視察研修/先進地視察研修ニュージールランド/ウィルダネスファーストエイド野外/災害救急法
まちづくり事業 ビストロGROW(BIS GROW)

申請及び問い合わせ先 住民企画課 住民企画グループ ☎76-2151(内線215)

北国向けのガーデニングを学ぶ 花壇づくり講習会実施

2月26日、林業研修会館で平成25年度の花壇作り講習会(主催 津別町花のまち推進協議会)が行われました。
涌島美也子氏(公益財団法人北海道森と緑の会グリーンコーディネーター)を講師に招き、20人の参加者が北国向けのガーデニング・花壇デザインや管理のコツについて受講しました。



涌島氏は北海道ならではのガーデニングの実例を映像を使って紹介し、場所選びから土作り、植物選び、デザインといった花壇づくりに関する具体的なアドバイスを行うなど、中身の濃い講習会となりました。

topics

まちのわだい

自然運動公園の整備に 江草孝市さんから町に寄附

2月18日、旭町の江草孝市さんから、自然運動公園の整備に役立てていただきたいと、100万円の寄附をいただきました。
「亡き妻が、生前津別町に大変お世話になったお礼に」と、この度の寄附を思い立たれたそうです。



感謝状を贈呈した佐藤町長は、「ご厚志に深く感謝いたします。ご趣旨に沿って有益に使用させていただきます」と、お礼を述べました。

青葉幼稚園児が町長室訪問 卒園式の招待状を持参

3月7日、青葉幼稚園の園児7人が役場を訪れ、佐藤町長に卒園式の招待状を手渡しました。
小さな来訪客は「21日の卒園式にぜひ出席ください」とお願いし、その後、町長と懇談しました。「町長の得意なことはなんですか?」との園児からの質問に、町長は「本を読むこととスキーです」と答えていました。
また、卒園式当日は町長の都合がつかないため、副町長が代理で出席することを約束しました。



AKB48お墨付き『恋するフォーチュンクッキー 北海道津別町Ver.』ユーチューブで全国発信中

町民参加の情報発信として、津別まちづくりセンター運営協議会が町PRのため企画・制作したミュージックビデオ『恋するフォーチュンクッキー 北海道津別町Ver.』が、AKB48公式認定動画となりました。
町民の皆様700人が参加していますので、是非ご覧下さい。
パソコン、スマートフォン等で『恋する津別』で検索してください。



地域おこし協力隊の 「まちのわだい」日記

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

津別の森の美しさ



檀山 知弘
森や川を歩いたり、野菜を作ったり、津別の色々を楽しむのが目標。あいおい物産館でそば打ちをしています。

津別町は愛林のまち、というのには伊達ではないじゃないか。むしろ、こんなに美しい原生林が生活圏にあるなんて、これは世界遺産級の魅力だ! というのが、昨年7月に相生に暮らしはじめてすぐに思ったことでした。相生といい、上里といい、チミケップといい、訪れるたびにその森の美しさにため息を漏らさずにはいられません。なぜならこんなに生命あふれるような豊かな森に簡単に会える地域は、内地(本州)はおろか、北海道にだってもう少ないからです。貴重で大切な、美しい森の魅力に触れられる幸せ。これからも楽しんで、そして発信していきたいと思えます。

